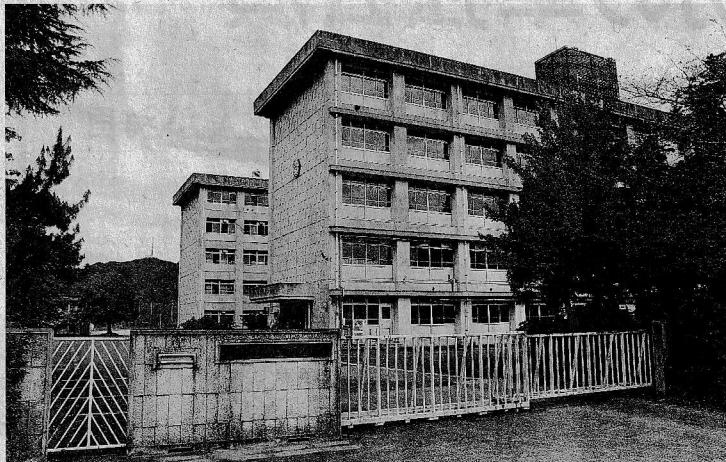


呉市総合SC再配置 テニスコートと弓道場



呉市総合スポーツセンターのテニスコートなどの移転に伴う解体方針が示された旧昭和高の校舎



4月に県から昭和高跡地を購入する。予定額は1590万円。市が担う解体費6億5千万円程度を差し引いた上、スポーツ施設に用いる条件で安く買えるという。土地の起伏が激しい野外活動センターでの整備に必要な地盤強化の工事費など7

呉市は、市総合スポーツセンター(SC)、郷原町のテニスコートと弓道場を、焼山町の旧昭和高(約5万4千平方㍍)に移転する方針を決めた。移転整備の事業費は18億4590万円と試算。移転候補地としてきた同町の市野外活動センターでの整備に比べて6400万円程度抑えられるとする。

(高木潤)

整備費 当初候補より6400万円減

昭和高跡に移転へ

呉・東広島

呉支社	08846(22)5525 FAX(22)4817
東広島総局	08846(22)5660 FAX(22)0124
竹原支局	08846(22)2393 FAX(23)0027
江田島支局	08823(42)0213 FAX(40)0008

億3千万円も省ける。
跡地にある鉄筋5階建ての校舎や体育館、格技場はいずれも2027年度に解体する。市は「老朽化が進んでおり、改修しても長期間の利用は難しい」と判断した。

テニスコートは12面を想定。弓道場に加え、多目的グラウンドの整備も視野に入る。総合スポーツセンターのテニスコートと弓道場が使えないなくなる2029年11月の利用開始を目指す。

昭和高は24年3月末で閉校。市は跡地の一部を無償で県から借り受け、数面のテニスコートなどを活用している。市は昨年10月、跡地の取得に向けて県と協議することを市議会に報告した。

また、野外活動センターは、キャンプ場などを除く一部について今年2月下旬から3年間、広島道路の4車線化工事で発生する土砂の仮置き場として西日本高速道路(大阪市)が使う。